



## 2020年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月14日

上場会社名 日本PCサービス株式会社 上場取引所 名  
 コード番号 6025 URL http://www.j-pcs.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 家喜 信行  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 田邊 憲昭 TEL 06-6734-7722  
 四半期報告書提出予定日 2020年1月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年8月期第1四半期の連結業績（2019年9月1日～2019年11月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年8月期第1四半期	1,289	46.6	51	—	51	—	26	—
2019年8月期第1四半期	879	4.4	△2	—	△4	—	△6	—

(注) 包括利益 2020年8月期第1四半期 37百万円 (—%) 2019年8月期第1四半期 △5百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年8月期第1四半期	16.56	16.30
2019年8月期第1四半期	△4.07	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年8月期第1四半期	1,851	407	19.0	218.68
2019年8月期	1,685	369	18.9	150.85

(参考) 自己資本 2020年8月期第1四半期 351百万円 2019年8月期 319百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年8月期	—	—	—	—	—
2020年8月期（予想）	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2020年8月期の連結業績予想（2019年9月1日～2020年8月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,100	29.9	102	64.8	93	23.5	34	△16.1	21.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は、業績管理を年次で行っているため、第2四半期累計期間の業績予想は開示しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年8月期1Q	1,605,700株	2019年8月期	1,605,700株
② 期末自己株式数	2020年8月期1Q	31株	2019年8月期	31株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年8月期1Q	1,605,669株	2019年8月期1Q	1,561,129株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書	
第 1 四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書	
第 1 四半期連結累計期間 .....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(会計方針の変更) .....	6
(会計上の見積りの変更) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、好調な企業収益や雇用環境を背景として緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦の影響による中国経済の減速や、消費増税の影響等により消費者マインドの落ち込みが懸念され、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報通信業界におきましては、IoT化(モノのインターネット化)やAI(人工知能)技術の活用等に加えて、2020年1月のWindows7のサポート終了前の駆け込み需要や、我が国で2020年度中に予定されている「5G」の導入を見据えての市場拡大が見込まれております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、企業理念である「1人ひとりのお客様に最適なスマートライフを!」に基づいて、成長が加速するホームIoTの総合サポートサービスNo.1の地位に磨きをかけると共に、ビジネスソリューションにおいて競争優位性の確立とグループシナジーの強化に努めました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,289百万円(前年同期比46.6%増)、営業利益は51百万円(前年同期は営業損失2百万円)、経常利益は51百万円(前年同期は経常損失4百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益は26百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失6百万円)の大幅な増収増益となりました。

当社グループの事業は、パソコンやタブレット端末、デジタル家電等のネットワーク対応機器に関する設定設置やトラブルに対し、訪問または電話で対応、解決するサービスの提供を行っており、事業セグメントはスマートライフサポート事業による単一セグメントであります。同事業はフィールドサポート事業と会員サポートセンター事業に区分され、それぞれの売上高の状況は次のとおりであります。

## ① フィールドサポート事業

中小企業法人向けサポートの専門チームを設け、法人向けPC・ネットワークの設定保守サポートサービスを拡充させております。また、スマートフォン修理、VR関連機器・ロボットの修理や、IoTスマートホームの設定設置の業務を新たに請け負うことができっております。これらの結果、フィールドサポート事業の売上高は1,133百万円(前年同期比54.0%増)となりました。

## ② 会員サポートセンター事業

当社会員サービスである「アフターサービス保証」の会員獲得強化により、会員数の増加に努めるとともにロボットコールセンターについてもサポート対象機器の増加に努めてまいりました。これらの結果、会員サポートセンター事業の売上高は155百万円(前年同期比8.7%増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産は1,851百万円となり、前連結会計年度末に比べ165百万円増加しました。

流動資産については1,300百万円となり、前連結会計年度末に比べ162百万円増加しました。これは主に、現金及び預金、前払費用が増加し、商品が減少したことによるものであります。

固定資産については551百万円となり、前連結会計年度末に比べ3百万円増加しました。これは主に、有形固定資産及び投資有価証券が増加したことによるものであります。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は1,443百万円となり、前連結会計年度末に比べ127百万円増加しました。

流動負債については811百万円となり、前連結会計年度末に比べ110百万円増加しました。これは主に、買掛金が増加したことによるものであります。

固定負債については632百万円となり、前連結会計年度末に比べ17百万円増加しました。これは主に、長期借入金が増加したことによるものであります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は407百万円となり、前連結会計年度末に比べ37百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が増加したことによるものであります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	480,258	638,740
売掛金	350,104	374,510
商品	221,442	210,438
原材料及び貯蔵品	7,652	6,278
前払費用	55,443	63,625
その他	43,121	26,790
貸倒引当金	△20,242	△20,330
流動資産合計	1,137,779	1,300,053
固定資産		
有形固定資産	24,125	34,016
無形固定資産		
のれん	230,480	218,349
商標権	140,600	132,925
その他	22,578	22,381
無形固定資産合計	393,658	373,656
投資その他の資産		
投資有価証券	57,985	65,385
長期未収入金	31,719	31,719
差入保証金	69,712	71,487
繰延税金資産	—	2,247
その他	3,209	4,998
貸倒引当金	△32,496	△32,496
投資その他の資産合計	130,130	143,341
固定資産合計	547,914	551,014
資産合計	1,685,693	1,851,067
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	105,855	135,859
1年内償還予定の社債	20,000	20,000
1年内返済予定の長期借入金	290,214	304,628
未払金	96,270	109,376
未払費用	111,896	115,272
未払法人税等	12,296	25,715
賞与引当金	6,070	16,599
その他	57,653	83,573
流動負債合計	700,256	811,024
固定負債		
社債	80,000	80,000
長期借入金	526,059	536,079
繰延税金負債	5,040	7,212
その他	4,518	9,358
固定負債合計	615,617	632,650
負債合計	1,315,874	1,443,674
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	278,546	278,546
資本剰余金	263,046	263,046
利益剰余金	△232,753	△206,165
自己株式	△72	△72
株主資本合計	308,767	335,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,431	16,358
為替換算調整勘定	△1,083	△591
その他の包括利益累計額合計	10,348	15,766
新株予約権	610	610
非支配株主持分	50,092	55,659
純資産合計	369,819	407,393
負債純資産合計	1,685,693	1,851,067

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
売上高	879,292	1,289,077
売上原価	531,909	803,208
売上総利益	347,383	485,869
販売費及び一般管理費	350,315	433,927
営業利益又は営業損失(△)	△2,931	51,941
営業外収益		
貸倒引当金戻入額	-	1,314
その他	871	2,521
営業外収益合計	871	3,835
営業外費用		
支払利息	1,143	3,884
その他	1,094	345
営業外費用合計	2,237	4,229
経常利益又は経常損失(△)	△4,297	51,548
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	△4,297	51,548
法人税、住民税及び事業税	2,063	21,640
法人税等調整額	-	△2,247
法人税等合計	2,063	19,393
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,360	32,155
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	5,566
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	△6,360	26,588

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年9月1日 至 2018年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△6,360	32,155
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	411	4,927
為替換算調整勘定	△48	491
その他の包括利益合計	363	5,418
四半期包括利益	△5,997	37,573
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△5,997	32,006
非支配株主に係る四半期包括利益	—	5,566

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

当社グループは、スマートライフサポート事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## （重要な後発事象）

## （新株予約権の行使）

当社が発行いたしました第1回新株予約権につき、決算日以降2019年12月1日から2019年12月31日までに、以下のとおり行使されております。

行使新株予約権個数	770個
交付株式数	77,000株
行使価額	58,674千円
未行使新株予約権個数	50個
増加する発行済株式数	77,000株
資本金増加額	29,623千円
資本準備金増加額	29,623千円

※上記の新株予約権の行使による新株の発行の結果、2019年12月31日現在の発行済株式総数は1,682,700株、資本金は308,170千円、資本準備金は292,670千円となっております。

## （子会社の設立）

当社は、2019年12月3日開催の臨時取締役会において、以下のとおり子会社を設立することを決議し、2020年1月8日に設立いたしました。

## （1）子会社設立の目的

当社グループは本格的にスマートフォンの修理事業を全国的に展開していく一環として新たに子会社を設立することといたしました。

## （2）子会社の概要

名称	スマホステーション株式会社
所在地	東京都武蔵野市吉祥寺本町1丁目10番1号
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 奥田 恵一郎
事業内容	スマートフォンの修理事業等
資本金	10,000 千円
設立年月日	2020年1月8日
出資比率	当社90% 株式会社Axis10%

## （重要な事業の譲受）

当社は、2019年12月3日開催の臨時取締役会において、スマホステーション株式会社よりスマートフォン修理事業を新たに設立された子会社が譲り受けることを決議いたしました。

## （1）事業譲受の概要

## ① 譲受した事業の内容

相手先の名称 スマホステーション株式会社

取得内容 13店舗（直営2店舗・F C 11店舗）

スマートフォンの修理状況、店舗運用、顧客管理、在庫管理、自動受発注等のシステム

## ② 事業譲受を行った主な理由

当社は、2019年3月にスマートフォンやゲーム機器の修理事業を営む株式会社スマホスピタル及びそれらの部材卸売業を営む株式会社Axisの株式を取得し、両社を中心として本格的にスマートフォンの修理事業を全国的に展開しております。一方でスマホステーション株式会社は、スマートフォン修理事業を関東から沖縄にかけて13店舗（直営2店舗・F C 11店舗）展開しており、加えてスマートフォンの修理状況、店舗運用、顧客管理、在庫管理、自動受発注等の多岐にわたるシステムを自社で開発・運用しております。今回の事業譲受けは、店舗数の増加によるスケールメリットの拡大に留まらず、同社が開発・運用しているシステムをグループ全体に導入することで、店舗スタッフの研修、個人の修理サービス能力の格差の解消、また適

正な在庫数の確保等、様々な業務効率改善が見込まれると判断し、子会社を設立して、同事業を譲り受けることといたしました。

③ 事業譲受日

2020年1月～2月(予定)

- (2) 譲受け事業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳  
取得価格につきましては、売主の意向により非公開とさせていただきます。
- (3) 主要な取得関連費用の内容及び金額  
アドバイザーに対する報酬・手数料等 5,000千円
- (4) 発生したのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間  
現時点では確定しておりません。
- (5) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳  
現在算定中であります。